

日本共産党 日立市議団ニュース

No. 37 2004年8月19日

発行 日本共産党日立市議団

連絡先 日本共産党北部地区委員会

日立市石名坂町 1525-21/ (53)8501



小林真美子
(21)4919



大曾根勝正
(52)1570

ご相談はお気軽にどうぞ

日立電鉄線存続へ尽力を

存続させる会が県、日立、常陸太田に要請

日立電鉄線の問題で、「日立電鉄線を存続させる会」は6日、橋本昌知事、櫻村千秋日立市長、渡辺龍一常陸太田市長の三者に、鉄道としての存続に力を尽くすよう求める要請書を提出しました。これには、五十嵐武夫、小野瀬文夫の両代表をはじめ沿線住民、日立、常陸太田市の日本共産党議員、大内久美子県議らが参加しました。対応した日立市の吉成助役は、「日立電鉄の経営が悪化しており財政的にやっていけない」と繰り返し、廃止はやむを得ないという認識を示しました。いっぽう常陸太田市の萩谷暎夫総務部長は「公共交通のなかでも、地方鉄道の存続は難しいが、新たな事業者に当たっている」とのべ、あくまでも鉄道として存続させたい考えを強調しました。県企画課の室町正男副参事は「日立電鉄に代わる新たな鉄道事業者をさがし、鉄道存続の可能性をさぐっていく」と言明。同時に「(存続を求めている)常陸太田の一市だけでは、県が支援していくのが難しい」とものべました。一行は、「県が日立市を説得してほしい」と要請しました。(8月7日「しんぶん赤旗」より)

〔参加した日立電鉄線を存続させる会の永井孝二さん(金沢町)の話〕

8月6日「日立電鉄線を存続させる会」は、日立市長、常陸太田市長、県知事に対して日立電鉄線の存続を求める要請行動を行いました。私は日立市長への要請のみに参加しました。

席上住民の声を求められ、およそ次のように発言しました。

「ローカル線の廃止をめぐる全国の例では、問題が決着するまでに少なくとも2、3年はかけているのに、わずか5ヶ月で廃線届をだした日立電鉄を容認している日立市の姿勢に強い憤りを感じる。バスに転換した場合、交通渋滞や環境汚染はどうなるのか、納得いく説明を何も聞いていない。70年も続いた交通文化を無くするのか、守るのかという問題である。少なくとも日立市は、日立電鉄に4月1日の廃線時期を延長させて、県、常陸太田市、住民、電鉄を含めた話し合いがもてるよう努力すべきではないか」

「一般質問の時間制限」は 市民の声を聞こうとしない態度

日立市議会で可決（日本共産党は反対）

十王町との合併で議員数が増えることなどを理由に、定例市議会での一般質問の時間を、一議員一人当たり質問、答弁合わせて年間 90 分に制限することが、今年 6 月以降議会運営委員会で話し合われてきました。提案、賛成してきたのは、市政クラブ、民主クラブ（企業議員）、そして公明党です。

8 月 10 日の議運で、未来クラブの伊藤議員は「（時間制限は）議会に与えられた権能を自ら放棄するもの。現行の運営で何の支障もきたさない」と年間持ち時間制に反対。傍聴した私も「われわれは毎月 51 万円の報酬を受けており、毎定例市議会で全員が一般質問しても不思議ではない。ところが毎回 10 名以下。水戸市に比べてもすくない。こうしたことこそ議論すべきだ。毎回質問する議員の時間を、質問しない議員にあわせて、時間制限するのは本末転倒」と反対しました。

休憩時間後、委員会が再開し、民主クラブの椎名議員から、「年間持ち時間 90 分を 100 分にする」との新たな提案があり、未来クラブの議員も含め全員が賛成しました。

私は「県内で年間持ち時間制は、どこもない。90 分から 100 分になっても何も変わらない。市民の代表としての市会議員の発言を制限するもの」と反対を表明しました。（大曾根勝正）

第 4 6 回自治体学校 in 静岡に参加して 小林真美子

8 月 7 日から 9 日に静岡市にあるグランシップなどを会場として開かれた自治体学校は、「自治と公共性の再生へ～自治体企業化に抗して～」をテーマに、渡辺治一橋大学社会学部教授の記念講演や、全大会リレートーク、35 以上の分科会等がおこなわれました。私は「子どもが健やかに育つ地域づくりを」の分科会と「地方自治制度改革の論点」（中規模教室）に参加しました。

分科会では増山均先生が助言者として「子どもたちの生活圏としての地域が安心安全の危機にある。子どもの権利条約が示す『市民、住民としての子ども』『自治・参画の主体としての子ども』という子ども観に基づき、子どもの居場所づくり、青年・大人のネットワークづくりなどで、つながりとぬくもりのある関係の創造と発展が求められている。」などと話しました。NPO 青少年活動ネットワーク（愛知県師勝町）、少年少女センターはままつの報告、活発な質問や交流をおこないました。

日本共産党北部地区委員会ホームページは <http://www.jcp-net.jp/ibahoku> です。「日立市議団ニュース」のバックナンバーもご覧いただけます。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。